第26回組合員女性研修会

紅葉も過ぎ去り、寒い冬が足早に近づいてきた11月19・20日の２日間に亘り、今年で26回を迎えた組合員女性研修会は、全道各地から24名（内３名が初参加）の参加を得て、開催致しました。

【ニッカウヰスキー余市蒸留所 】余市町

札幌駅集合後、車内でお弁当を食べながら余市町へと向かいました。お弁当を見たご婦人たちの『可愛い・美味しい』との声に、たくさんの候補の中から選りすぐって選んだ甲斐がありました。

今回の研修場所は、ＮＨＫ朝の連続小説ドラマ『マッサン』の舞台となった場所。『マッサンは見ていましたか?』の質問に、大半が『見ていたよー！！』の声。

ニッカウヰスキー余市蒸留所は、1934年、日本のウイスキーの父と呼ばれる竹鶴政孝氏が、ウヰスキーづくりに欠かせないスコットランドの気候・水・空気を求め、たどり着いた場所です。

ウヰスキーの香りの素がピート（泥炭）で、ピートを燃やして麦芽を乾燥させることで、モルトウヰスキー独特のスモーキー・フレーバーが付くそうです。

醗酵液を熱して香り成分やアルコールを取り出す工程に使用される銅製の蒸留釜『ポットスチル』。

一番奥にあるピカピカの状態は、四半世紀ぶりに新調された、今しか見られないということもあり、歓声が上がりました。

ポットスチルにかかっているしめ縄紙垂は、創業者の竹鶴政孝氏の実家が日本酒醸造を行っていた為、それに慣って縁起担ぎでかけているそうです。

リタの家では、玄関までしか入ることは出来ませんでしたが、国際結婚した二人の家ということで、和洋折衷の造りとなっていました。

蒸留棟・乾燥棟・粉砕棟・醗酵棟とウヰスキーづくりの工程をガイドの説明を聞きながら、約２キロを見学し、最後にウヰスキーやアップルジュースの試飲を楽しみました。

特に人気だったのが、アップルワイン。炭酸水が用意されており、割ってハイボールにされている方もいました。

試飲が終わると、少しほろ酔いでお買い物を楽しみました。

【余市ワイナリー】余市町

次に訪れたのは、ニッカ工場から車で５分程の所に位置する『余市ワイナリー』。

時間の都合上、工場見学は出来ませんでしたが、

ナイアガラワインの試飲や、梅酒やグラス、その日解禁のスパークリングワインなど、お土産に買われている方もいました。

併設されていたカフェ＆ベーカリーで購入したパンは、懇親会でワインのお共に出したところ大人気でした。

【ホテル水明閣】余市町

今回のお宿は、余市町にある『ホテル水明閣』。このホテルは、昭和12年８月12日に創業し、ニッカウイスキー創業者、竹鶴氏より命名された歴史あるホテルです。

余市川の清流に育てられた活きの良い鮎の塩焼きが魅力で、数多くの芸能人・著名人も宿泊しており、たくさんのサイン色紙が飾られていました。

懇親会では、どさんこワイドでお馴染み『奥さん！お絵描きですよ』を部屋対抗で行い、事務局もご婦人たちからお題を受け、ゲームに参加し楽しみました。毎年好評のプレゼント交換を行いながら、料理とお酒を堪能し、終始会話が絶えることない楽しい会となりました。

二日目の朝、『まだ昨日のお酒が残っているわ～』との声も聞こえました。

札幌駅へと向かう途中、小樽市街に立寄り自由散策。職人のガラス細工や情緒ある建物に心癒されたことでしょう。

当初心配されていた雨に当たることなく過ごせた２日間。これも、普段お仕事や家事を頑張っているご婦人たちのお力だと思います。

この研修が１年に一度の楽しみだと言って下さるご婦人たちの笑顔に出会えたことに感謝しております。

皆様にご協力頂いたアンケートを基に、今後の研修をより良いものにと考えておりますので、次回のご参加を心よりお待ち申し上げております。また、興味をお持ち頂いた方も是非お気軽にご参加下さい。

最後になりましたが、この研修会の取りまとめにご協力いただきました関係者の方々に深くお礼申し上げます。

（総務部総務課　石田）